

発言通告書の要旨(一般質問)

平成29年第2回定例会

質問日	質問者順	議席/氏名	件名	要旨
6/14 (水)	1	17 鴨田 偲	1、讃岐造船跡地について	1、水族館建設誘致を断念し、引き続き「詫間港周辺地区にぎわい創造事業」を行うようだが、考えはあるのか伺う。 2、讃岐造船跡地を市が買収した後、建物の取り壊し等にどのぐらいの費用を要したのか、また今後2基のドックを撤去するとしたら、どのぐらいの費用が必要なのか伺う。
			2、市内の農業振興について	農家の営農指導すべき、JAの営農指導のできる職員が非常に減少しているようである。市の職員の中で営農指導できる職員を育成して、市内の農業振興に寄与してはどうか、伺う。
	2	12 近藤久志	1、増殖放棄竹による里山荒廃対策について	・三豊市内における放棄竹林、山林化荒廃竹林の実態及び住宅地、農地、山林環境への影響等含め地域ぐるみの取り組み整備計画、施策が具体化していない。市の取り組みについて問う。 (筍生産実績と見込み、放棄竹林伐採の実績、全国の取り組みから、三豊市に取り入れられる施策、独自施策、財源等含め、農業振興関係から)
			2、公民館の活動推進について	・地域住民に身近な公民館活動実態と地域拠点としての分館活動支援について ・市の受益者負担の原則の推進では、公共施設等使用料見直しが行われている、公民館使用料減免団体についての定義によって活動しているので、使用料減免は継続されるか伺う。
			3、ふるさと納税活用について	・三豊応援寄附金として活用している実績と将来性について、今後6つの事業寄附メニューを見直し、まちづくりプランの参加型寄附金として高瀬駅関連整備寄附金を新設出来ないか。
	3	11 金子辰男	1、東京オリンピック、パラリンピック競技大会を活用した地域活性化について	オリンピック、パラリンピック競技大会の開催効果を地域活性化の原動力とすることが重要である。優秀な選手が出ることにより、その地域のスポーツ人口や、人気が増えることは承知のとおりである。地域の未来の有望な選手の育成、そのために、地域の施設の活用はなされるのか。
			2、市内、小中学校の先生の勤務実態を問う	文部科学省が公立小中学校の先生の勤務実態の調査をまとめた。マスコミ報道などによると過労死ラインにあたる週60時間以上の勤務をしている教諭が、小学校で3割、中学校で6割に達しているとのこと。市内の小中学校の実態はどうか。並びにこれを機会に先生達の教育の意欲を阻害しないような環境づくり、教育の質を高めるような職場改善などの取り組みについて伺う。

発言通告書の要旨(一般質問)

平成29年第2回定例会

質問日	質問者順	議席/氏名	件名	要旨
6/14 (水)	4	4 浜口恭行	1、交通アクセスについて	賑わい創出施設を成功させるためには、交通アクセスの改善が不可欠と考える。さぬき浜街道の多度津町残り区間の早期完成への働きかけや、その他詫間地区幹線道路整備、JR等も含めた交通アクセスを整備する必要があると考えるが、当局の考えを聞きたい。
			2、大浜小学校の統廃合について	大浜小学校の統合のスケジュールと、今後の方針、幼稚園や跡地も含めた計画を聞く。
	5	1 市川洋介	1、公共施設整備の執行体制について	①本市における公共施設整備の計画から完成までの執行体制の現状を伺う。 ②全ての工事を建設部局で担当した場合の想定される問題点について伺う。 ③建設部局で公共施設整備、工事を担当するほうが効率的であり、将来的にも良いと思われるがどうか。
			2、職員の携帯電話(スマートフォン)の公的使用について	①職員が個人で契約している携帯を公的使用していると思われるが現状を伺う。 ②職員の個人携帯の電話番号、アドレス等は本人の承諾を得て取得していると思われるが半強制的になっていないかを伺う。 ③個人所有の端末に公的利用している場合のガイドラインはあるのかを伺う。 ④携帯電話(スマートフォン)はコンピューターと同じ様にハッキング、盗用される対象で個人的にウィルス、防御等の措置を講じている人は少ないと思われるが業務上得た個人の電話番号、データは端末に保存されていると思われるが流失した場合の責任の所在は職員個人に科すのは酷であると思うが組織としての見解を伺う。 ⑤災害発生時に有効な携帯電話であるが、今後は導入予定と聞いている移動防災行政無線の端末の運用と配置について伺う。 ⑥民間企業が社員に携帯電話の貸与をしているが今後の三豊市ではどう考えているかを伺う。 ⑦学校現場の個人端末の運用状況について伺う。
6/15 (木)	6	15 大平敏弘	1、情報開示と説明責任	議会報告会も終え市民の声を聴くにつけ、施策展開についての説明責任の意識と具体的対応は。自治会長会(自治会加入率28年度82%)での市長の肉声での説明責任の場がなくなった。直接意見交換すべきと思うがいかがか。
			2、チーム三豊市役所のモチベーションの共有は	市長と職員みなさんのモチベーション共有は、どのようにとっているのか。元気で住みよいまちづくりの市長のやる気と、その担当部局連携とボトムアップはどのように。
			3、ジャンボタニシの生息分布状況と今後の対策は	三豊市内全域の水田等に拡がりつつあるが、対策はあるのか。

発言通告書の要旨(一般質問)

平成29年第2回定例会

質問日	質問者順	議席/氏名	件名	要旨
6/15 (木)	7	21 瀧本文子	1、女性の貧困問題について	1、三豊市におけるひとり親家庭の状況について ・就労状況など 2、ひとり親家庭への支援について ・就業、自立支援の対応について ・養育費の確保について ・さまざまな施策の総合的な評価について 3、寡婦(夫)控除のみなし適用について ・対象事業を増やすことについて
			2、子宮頸がん予防について	1、子宮頸がん検診の受診率の向上について ・無料クーポン券の配布、利用率 ・受診勧奨の手立て ・県内検診機関で広く受診できる体制に ・20代からの検診の受診率の向上について 2、子宮頸がんワクチンについて ・「ワクチン接種の積極的な勧奨は差し控えていること」や「副反応」等情報についての周知について ・ワクチン接種後に症状が出た方への対応について
	8	8 西山彰人	1、三豊市就学前教育・保育施設適正配置計画について	三豊市就学前教育・保育施設適正配置計画と三豊市の就学前教育・保育についての報告及び三豊市立学校の適正規模・適正配置についての答申との関係について伺う。
			2、3人目の保育について	3人目の保育料を無料としているが、三豊市民ならすべて無料となっているか伺う。
			3、高瀬南部保育所の人員配置と契約について	高瀬南部保育所の人員配置は三豊市との契約どおりとなっているのか、また労基法は守られているのか伺う。
			4、詫間造船所跡地の利用について	詫間造船所跡地の今後の計画についてどうなっているのか。たちまち利用できるようにできないか伺う。
			5、管理職等の範囲について	管理職等の範囲について、労働基準法の要件を満たしているのか、見解を伺う。
	9	5 丸戸研二	1、地域商社事業について	(1)瀬戸内うどんカンパニーの業態について (2)経営体制と三豊市との関係について (3)取り扱う商品の選択について (4)29年度の営業と将来の発展形は
			2、若者の定着策について	(1)安心して働ける場の確保対策について (2)産業用道路の整備状況について ・現在の進捗状況と今後の見通し (3)鳥坂インターのフル化について ・現在の進捗状況と今後の見通し
			3、大久保謙之丞と三豊について	(1)これまでの取り組みと今後の計画について ・国道32号戸川バイパスの整備と旧国道化する現国道の管理見通しについて ・ポケットパークの整備について ・顕彰碑周辺の整備について (2)功績を伝えることについて ・資料の集積・保存及び展示について

発言通告書の要旨(一般質問)

平成29年第2回定例会

質問日	質問者順	議席/氏名	件名	要旨
6/15 (木)	10	6 水本真奈美	1、防災減災対策について	①大きな被害を出した東日本大震災から6年、震度7の揺れに2度も見舞われた熊本地震から1年がたった。ここ数年の大災害を教訓に女性の視点にたった対策が各地で進み始めている。本市においても三豊市地域防災計画、避難所運営マニュアルを作成し、取り組んでいるところですが、女性視点の具体化がなされているのか、次の点について伺う。 ②防災会議の女性の割合③防災リーダーの育成④避難所運営⑤備蓄について ②2016年6月に内閣府が作成した「男女共同参画の視点からの防災プログラム」の取り組みについて伺う。 ③自宅備蓄の推進について ④災害時の給水体制について ⑤災害情報とSNSの利用について
			2、少子化対策としての婚活支援について	①今後の取り組みについて ②ご当地オリジナル婚姻届と撮影スポットの設置について
6/16 (金)	11	10 詫間政司	1、地域資源を活用した「アンチコンパクトシティ」実現の取り組みについて	三豊市は、コンパクトシティではなく、これまで住み慣れた地域で生活できる「アンチコンパクトシティ」を目指すことを表明している。この看板を掲げ地域内分権と称して市民力によるまちづくりの制度を独自に推進している。一方、少子・高齢・人口減少にあって、マンパワーにも限界が見えている。止めることのできないこの流れの中にあっても、「アンチコンパクトシティ」で安心安全に生活できる仕掛けを編み出して行かなくてはならない。準天頂衛星「みちびき」2号機が打ち上げられ成功した。三豊市には地域資源ともいえる香川高専詫間キャンパスがある。「アンチコンパクトシティ」で市民が安心安全に暮らす(コミュニティバスのデマンド化や高齢者の見守り等)ことのできる共同技術開発の考えを問う。
			2、新学習指導要領に対する取り組みについて	2020年から始まる新学習指導要領による学習は、これまでの「詰め込みかゆとりか」といった2項対立ではなく、これまで同様の学ぶ内容を減らさず、「アクティブラーニング」という学習方法をすべての教科に取り入れることとなっているようだ。新学習指導要領に対して、市としてどのように取り組んでいく考えなのかを問う。
			3、豊中幼稚園の送迎環境改善について	豊中幼稚園は、5つの施設を統合して開園し15年になる。定員340人で現在270名が通園している。開園時はスクールバス利用が主であったが、保護者の多くが仕事を持ち、自家用車による通勤途中の送迎が多くなっている。市では現在、幼稚園のこども園化を計画しているが、豊中幼稚園は既に形態として実質こども園であり、市が進めようとするこども園のモデル園となるべきだと考える。社会状況が変わることによる保護者のライフスタイルの変化に施設整備が追い付いていない。駐車場整備や職員駐車場の確保などによる、送迎環境改善について問う。
6/16 (金)	12	7 込山文吉	1、地域未来塾事業について	経済的理由で十分な教育が受けられないことを背景とした親の世代から子どもの世代への貧困の連鎖を防ぐ、学習支援などの取り組みの重要性が高まっている。 三豊市も、今年度の新規事業で生活困窮世帯子供の学習支援事業を中学3年生を対象に始める。 ①想定は60名程度と聞いているが、状況を聞く。 ②生活困窮者自立支援制度に関し、学校、教育委員会と福祉関係機関との連携を求められている 三豊市における連携体制は取られているのか。課題も併せて聞く。 ③今後、市内対象者を網羅するためには、中学校区に1カ所必要になる。考えを聞く。
			2、肝炎の重症化予防強化について	C型肝炎は、予防ワクチンはないが、薬による治療効果が飛躍的に高くなっている。 一方で、国民の約半数が肝炎検査を未受検であり、さらに検査で陽性と判定されても40%が治療に進んでいない。三豊市の重症化予防対策について考えを聞く。 ①三豊市の肝炎ウイルス検査の現状を聞く。 ②これまでの検査で陽性となった者の累積者数と受診状況について聞く。 ③受検促進や検査結果が陽性者のフォローアップについての考えを聞く。
			3、給食費無償化について	現在、58自治体が小・中学校で、3自治体が小学校で実施している。まだ少ないが、渋川市が今年度から小・中学校の給食費を完全無償化するなど増加傾向にあり、文部科学省も全国調査を実施する。「食のセーフティーネット」として注目が集まっており、無償化の必要性も論議されている。財源の確保など問題も多いと思うが、課題なども含め考えを聞く。

発言通告書の要旨(一般質問)

平成29年第2回定例会

質問日	質問者順	議席/氏名	件名	要旨
6/16 (金)	13	3 岩田秀樹	1、ふるさと納税の現状	ふるさと納税の納税者と納税者の居住地 ふるさと納税の目的を点に絞り込む方法もあるのではないか
			2、第6期三豊市介護保険制度の現状と課題	第6期計画による変更により、利用者の実態がどうなっているのか。 新総合事業の状況と課題はどうなっているのか。
			3、国民健康保険税の子どもの均等割軽減の実施を	子育て支援施策の重視を幅広い視点で実現するため実施を 子どもが多ければ多いほど、均等割額は大きくなり軽減措置の実施を求めるものである。
			4、公共施設の受益者負担について	受益者負担は原則か 公民館に対する考え方について
			5、公共施設再配置実行計画の進捗状況はどうなっているか	行政目的終了し、条例を廃止し一般財源負担はなくなった施設は多くある。 しかし、建物として存在している。今後の取り組みはどうなるのか。
	14	9 三木秀樹	1、水族館構想の廃止について	住民の声でなく、コンサル案等を重視し、3年間で総額186,950,000円を投資した政策の反省が本会議の場で必要ではないか。
			2、2018年(平成30年)4月より公民館等の使用料の減免規定を適用せず、有料化する問題について	公民館等を利用する声(アンケート)を基に、現状の市民福祉に逆行する「有料化」施策の疑問、数点を聞く。